

## 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 平成 25 年 11 月 1 日(金) 13:20～15:05

場 所 島根県立出雲養護学校みらい分教室

対 象 児童生徒 15名

指導者 教職員 8名

埋蔵文化財調査センター職員 2名

### 1. 主 題 縄文・弥生人の生活を知ろう ～古代食作り体験～

#### 2. ねらい

○古代の人々の生活の様子について、県内の出土品から学び、遺跡や文化財への興味・関心を高める。

○古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について考える。

#### 3. 展 開

| 時間  | 学習活動  | 指導者の支援・配慮事項   | 分担       |
|-----|---|---|----------|
| 5分  | 今日の学習の流れを確認しよう  | ・講師の紹介をする。<br>・学習の内容やねらいを説明する。  | 担任       |
| 15分 | 縄文・弥生人の生活を知ろう<br>(多目的室)<br>・縄文時代や弥生時代が今から何年前か確認する。<br>縄文時代 1万年前～2300年前<br>弥生時代 2300年前～1800年前<br>・縄文時代の人々の生活の様子を知る。<br>狩りや漁や採集、縄文土器<br>・弥生時代の人々の生活の様子を知る。<br>稲作が始まる。弥生土器 | ・指導者が役割演技をしながら授業を展開することで、児童生徒が学習意欲を高めることができるように配慮する。<br>・1年＝1mmの長さの紙テープを使い、1万年前という時間をつかみやすいように支援する。<br>・児童生徒がイメージしやすいようにパネル写真や遺物や実物を提示し、各時代の様子の基本的な知識を理解させるように配慮する。<br>・食を中心に、現代の生活と比較しながら、各時代の特色を押さえ、細かなことには深入りしないように配慮する。 | 職員       |
| 10分 | 休憩  | エプロンを着て、移動。   |          |
| 50分 | 古代食作りに挑戦しよう。(実習室)<br>・古代米の炊飯<br>・縄文クッキー作り   | ・古代米の炊飯方法、縄文クッキーの作り方について説明する。<br>・安全面、衛生面に十分に配慮し、活動中は、適宜助言や支援を行う。   | 職員<br>担任 |
| 10分 | 古代食を試食しよう(実習室)  |   |          |
| 5分  | アンケートを記入し、感想を発表する   |   |          |
| 10分 | 片付けをする  |   | 全員       |

#### ※準備する物

(学校・生徒) 調理器具、食材(生もの)、筆記用具・エプロンなど

(埋蔵センター) 食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料 デジカメ(記録用)など